

職員の増員について

◇22年4月の独法化以降、148名の増員を実施 ※全て常勤職員の増員

医師 11名（総合内科長、麻酔科 5名、血液腫瘍科・造血幹細胞移植科 1名、小児腫瘍科 1名、
乳腺科・腫瘍内科 2名、脳脊髄腫瘍科医員 1名）

研究員 5名（研究所 1名、がん対策情報センター 4名）

看護師 74名（中央病院の2交代制導入に伴う増、東病院の7対1看護取得に伴う増）

薬剤師 11名（非常勤からの常勤化 6名、新採 5名）

理学療法士 1名、作業療法士 1名（リハビリテーション施設基準の取得に伴う増）

治験コーディネーター 18名（非常勤からの常勤化 8名、新採 10名）

臨床検査技師 2名、臨床工学技師 3名、栄養師 1名、臨床試験専門員 1名

がん相談専門員 5名（相談支援センター機能強化。非常勤からの常勤化 2名、新採 3名）

事務職員 15名（知的財産戦略室長、医学物理士 2名、移植コーディネーター 1名、非常勤からの常勤化 2
名、派遣からの移行 2名他）

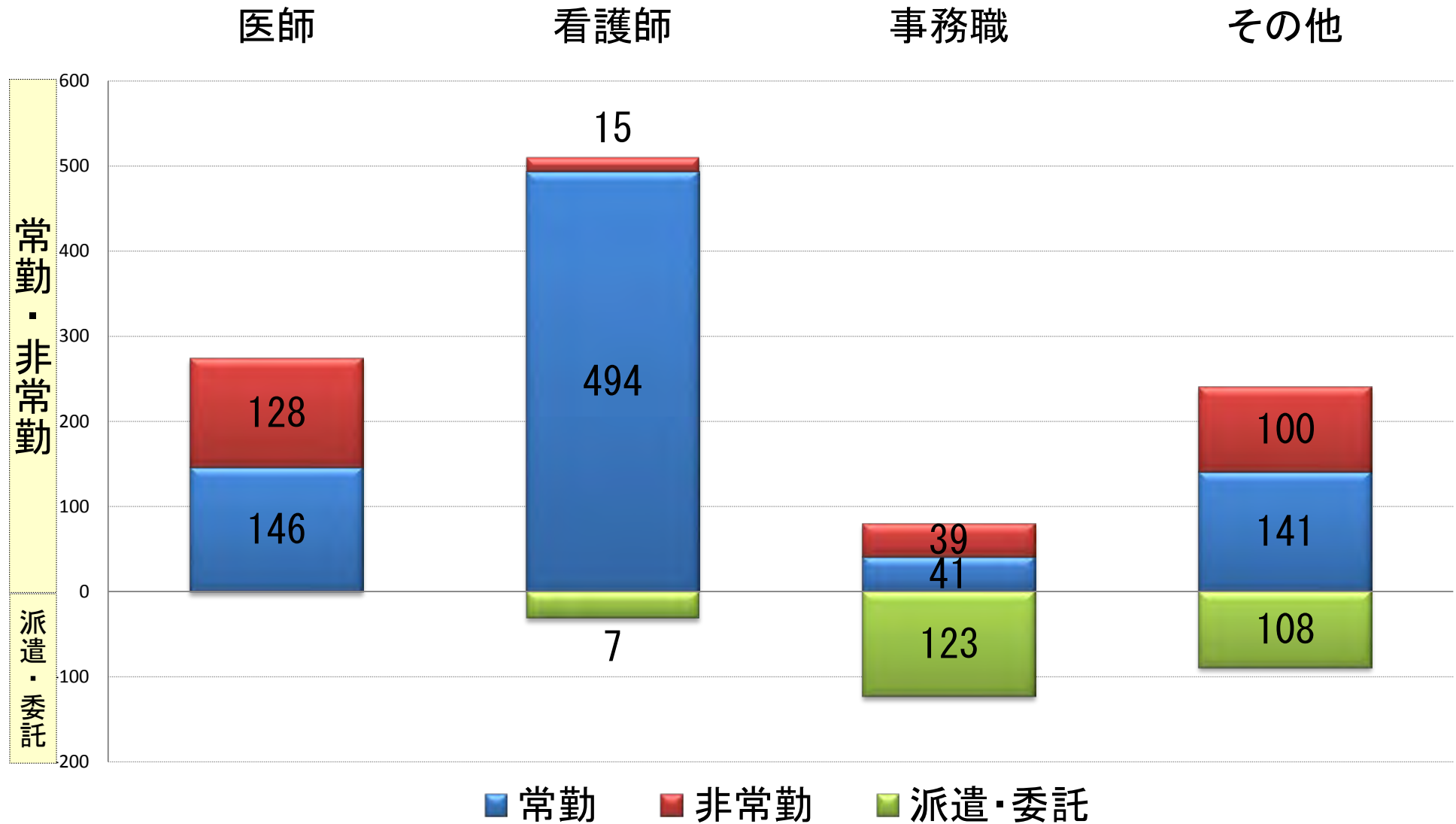
◇役員自ら面接試験

書類選考者数 約 630名、理事長の面接者数 202名

※本日も事務職員 2名の面接を実施

国立がん研究センターの職員数と雇用形態(中央病院)

※平成22年7月1日現在(単位:人)



国立がん研究センター(研究部門)の職員数と雇用形態

※平成22年7月1日現在(単位:人)

